

令和元年度第 1 回学校問題解決サポートセンター講演会実施報告

- 1 日時 令和元年 7 月 31 日（水曜日）午後 2 時から午後 4 時 30 分まで
- 2 場所 東京都子供家庭総合センター 6 階大研修室、7 階集会室
- 3 参加者数 297 名
 【校種別内訳：幼稚園 7、小学校 108、中学校 64、高等学校 72、特別支援学校 37、教育委員会等 9】
 【職層別内訳：園長 3、校園長 1、校長 68、副園長 4、副校長 145、主幹（主幹養護）教諭 33、主任（主任養護）教諭 10、教諭 12、養護教諭 10、指導主事等 6、その他（SSW など） 4】
- 4 内容
 - (1) 挨拶 東京都教育相談センター所長 黒崎 一朗（6 階会場）
 東京都教育相談センター次長 清水 宏（7 階会場）
 - (2) 講演「理不尽な要求を繰り返す保護者等への法的な対応」 講師 弁護士 相川 裕 氏
 「対応に苦慮する保護者等との関わり方、心のもち方」講師 精神科医 真金 薫子 氏
 - (3) 質疑応答、事務連絡

5 講演概要

主に管理職を対象に、弁護士と精神科医の先生方から御講演をいただきました。「いじめの対応で学校と保護者とがうまくかみ合わず、こじれていく」という事例を取り上げ、弁護士には法的視点から、精神科医からは医学的視点から、実践的な対応について御講演をいただきました。



6 参加者アンケートから

- ・初動、予防段階での対応を適切にしていくことが早期の解決につながるということを、改めて実感できました。
- ・すぐに実践できること、教職員に伝えるべき具体的なことなど、たくさん得ることができました。
- ・多様化する保護者のニーズに対応できる組織をつくる必要があると思いました。
- ・普段、同時に聴く機会がない弁護士、精神科医の立場からの話を聞くことができよかったです。